

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年5月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674900198
法人名	医療法人 幸望会
事業所名	第二スマイル園
所在地	鹿児島県出水郡長島町鷹巣2093番地1 (電話) 0996-86-1017
自己評価作成日	平成28年5月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ① 本人や家族の経済的負担を軽減するため入居費を低くしている。
- ② 母体が医療法人であるため医療面で、常にフォローできる体制にある
- ③ 居室を広くとってあるため、本人のなじみのものを多く持ち込むことができる。また、家族がとまることもできる。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年5月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は医療法人グループの一つで、長島町の北部の静かな地域に立地している。定期的な往診や緊急時の対応などのバックアップ体制が整っている。
- ・自治会に加入し、地域行事の見物をしたり事業者の行事にも多くの地域の人々の参加がある。幼稚園児や小学生との交流、介護の相談を受けたり認知症サポート養成講座を開催するなど地域との良好な関係が築かれている。
- ・災害対策として定期的に避難訓練を実施し、緊急時には公民館長に連絡したうえで有線放送で協力依頼の体制ができている。
- ・地元出身の利用者とスタッフが多く、アットホームな雰囲気職員間のコミュニケーションも図られている。代表者や管理者は職員を育てることに力を入れ、資格取得に向けた支援を行っている。職員は勤務年数も長く離職者も少なく、自らのグレードアップを目指している。

みかん棟

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を作り実践を心がけている。	全職員で見直しした、地域密着型理念を、玄関やホールに掲示して、日頃のケアの気付きを振り返っている。月1回は、理念について話し合い、管理者・職員は共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会してはいるが、日常的には交流していない。	自治会に加入し、職員が地域の定例会に出席している。利用者が周辺の散歩や畑を見に行った時に、あいさつや会話をしている。学校の運動会の見物や十五夜の子供たちとの交流・ボランティアの来所・地域の消防組織との交流等に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	生かしていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	生かしている	<p>会議は定期的開催している。事業所の活動や行事予定、外部評価の報告等を行い意見交換している。消防署参加の時は避難訓練や地震の対応・町の災害時の取り組み等、指導助言を受けている。出された意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	取り組んでいる	<p>町の担当者には、日頃から電話や窓口に出向き相談や情報を交換して助言を貰っている。運営推進会議を通して協力関係もでき、町主催の研修会や認知症サポーター養成講座、地域ケア部会にも参加している。相談員の受け入れも行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	極力取り組むようにしている。	<p>マニュアルがあり身体拘束をしないケアについて、事例をあげて勉強会をして再確認している。言葉の拘束にも気を付けている。昼間は玄関の施錠はしていない。外に出たい利用者は、共に寄り添って職員が対応している。運営推進会議でも拘束をしないケアの実践を取りあげている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	今のところ支援の機会がない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書で説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時に、必ず家族と話をし、意見等を聴くようにしている。また、運営推進会議に家族の方に参加してもらっている。	利用者には日頃の会話や、表情から思いを把握している。家族からは、面会に来られた時や運営推進会議の時、積極的に意見や要望を聴いている。「スタッフの名前が分からない」との要望に、速やかにスタッフの写真を掲示して、対応している。意見は運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月ミーティングを行い、意見を聴く機会を持ち、反映するようにしている。</p>	<p>代表者や管理者は日頃から、職員とコミュニケーションを図り、申し送りやミーティング等で、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。2ヶ月に1回勉強会をして、出された意見は運営に反映するようにしている。個別的にも相談を受け支援している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>不十分である。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>不十分である。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者が集まる地域ケア部会に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	殆どが認知症の方であるため、本人からの要望等はなかなか訊くけないことが多く、家族に訊ねることが多い。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からは、必ず訊くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスの利用に関しては対応していない。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	不十分である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会をなるべくしてもらえようをお願いしているが、家族によっては回数が少ない。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>支援が不十分である。</p>	<p>支援の体制は整っているが、高齢になり、車に乗るのが苦痛だったり、遠方に行くのは限られている。地元の昔の友人が来所したり、地域のボランティアの踊りや孫・ひ孫・保育園児・幼稚園児の訪問があり交流している。手紙や電話の取次ぎなども行っている。美容室は来てもらい対応する等、人や場所との関係が途切れないように支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>なるべくホールで過ごされることを勧めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>継続的な関わりを必要とする利用者が、今までおられませんでした。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	把握して、これに副うよう気がかけている。	日頃の生活の中で、一人ひとりの思いを、表情や生活歴を考慮しながら、アンテナをはって気づくよう努めている。帰りたい思いの時は、すぐ家族に連絡をして話し合い対応している。おとぎ話を楽しみ、新聞や絵本が好きな利用者もあり支援している。困難な場合は家族に聞いたり職員間で話し合い対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報を取り入れるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状況は時系列に記録することにより、把握もれがないように心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人との話し合いは困難なことがあるが、家族、職員医療面では主治医・ナースの意見を聞きながら作成している。	家族や本人の希望や意向を把握して課題を捉え、医療面では主治医、看護師の意見を聞き、職員間で話し合い、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回実施、状況に変化があった時は、その都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>時系列の記録、職員間の申し送りを行うことで、情報を共有し実践している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>現在の事業所ができる限りの範囲で、できるサービスは行なうよう心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>不十分である。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>支援している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。母体医療機関の定期往診が、2週間に1回ある。専門科に行く時は、家族が同行している。歯科は必要時、往診で対応している。母体が医療機関であり、緊急時の対応が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院された時は、必ず職員である看護師もしくは管理者、場合によっては両者が病院に出向き情報交換を行っている。ただ、常に病院との関係作りは行っていない。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い随時話し合い、医療との連携を取りながら家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの事例もある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	職員である看護師や主治医・ナースによる対応を主としているため、職員全員が実践力を身につけていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、避難誘導訓練を実施している。また、もし発生した場合は地域の公民館長に連絡がいき有線放送が地域に流れるようになっている。</p>	<p>消防署立ち合いのもと、年2回昼夜想定して、避難誘導訓練を実施している。火災通報の連絡網は公民館長に連絡し、連絡体制が整っている。毎月、自主通報訓練を実施している。非常災害用の設備点検は防火管理者が立ち合って、契約保守業者が行っている。「地域防災協力隊」の協力もあり地域との協力体制を築いている。災害時の水や食料等の備蓄は完備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	極力取り組むようにしている。	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねないように、日頃から注意している。排泄介助やトイレ誘導など羞恥心の配慮や名前の呼び方等に気配りして対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	極力取り組むようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	極力取り組むようにしているが、不十分だと思う。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	極力、できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みに関しては、不十分である。片付けの手伝いができる方には手伝ってもらっている。	栄養士の献立をもとに、菜園の野菜や魚屋から直接仕入れる旬の食材で好みに配慮した献立や食事形態を工夫している。野菜の皮むきや後片付けなど職員と一緒にいたりもしている。家族参加の誕生会や季節の行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夕食後に行うようしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	支援をしている。	排泄パターンを把握し、声かけや時間を見計らった誘導で、トイレでの排泄や自立に向けた支援を行っている。排泄用品も本人に合わせて検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	不十分である。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	不十分である。	入浴は基本的には週2回であるが個々人の体調や希望に添って対応している。入浴剤を入れたり、同性介助を行っている 入浴を拒む利用者には、無理強いせず職員の連携でタイミングをみて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	不十分である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	不十分である。	庭が広く日常の散歩は、いつでもできる。ホームの周りや畑を見に行ったりしている。花フェスティバルやお魚祭り・宵待会の見物・造形展等に出かけている。家族の協力を得ながら墓参りや外食に行っている。ホームから鶴の見学にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	不十分である。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話は時折される方がおられるが、手紙は書かれていない。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不十分である。	フロアが広く、空気の流れが快適である。壁には利用者の作品や写真が飾ってある。台所はオール電化で対面式であり、利用者の動きが良く分かる。窓は二重サッシで掃出しになっている。居間の入り口は開閉し易い引き戸になっている。一部ステンドグラス風のデザインがあり光が柔らかい。音や光・温度・湿度の調整がなされ、居心地よく過ごせるように工夫されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>極力、できるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>不十分である。</p>	<p>居室は掃き出し窓になっている。ベッドや整理タンス・洗面台・一部トイレが備え付けである。テレビや寝具・ぬいぐるみ・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものを持ち込んでいる。家族が泊まれるスペースもあり、本人が居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>極力、できるようにしている。</p>		

V アウトカム項目 みかん棟

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない